

へいわ あかり
平和の燈火

れいわ 令和 8年 3月 1日(日)

午後3時～7時30分 (雨の場合は2日(月)に延期)

おかひがしちゅうおう
ニッペパーク岡東中央

(京阪電車「枚方市駅」下車、徒歩5分 枚方市役所隣)

枚方市には、かつて戦争で使う兵器をつくる工場が3つあり、約3万人がそこで働いていました。1939年(昭和14年)3月1日、禁野火薬庫が大爆発し、およそ700人の人が亡くなったり、怪我をしたりしました。

枚方市ではこの大きな事故をいつまでも忘れず、みんなが平和の大切さを考える日にしようと、3月1日を「枚方市平和の日」と決めました。

<プログラム>

- 午後3時～5時 メッセージツリーや
ペットボトルキャップアートの作成
VRによる原爆被害などの体験
午後5時30分～ キャンドル点灯式(手話通訳あり)
弾き語り演奏、絵本の朗読
※ペットボトルキャップ回収(ワクチン接種費用支援、ペットボトルキャップアート作成に使用)をします。



高校生・大学生、平和への想い。

半年間、実行委員一人一人が「平和とは何か」を考えながら、当日に向けて取り組んできました。この平和の燈火が多くの方に平和の大切さを感じてもらえる機会になれば幸いです。

実行委員の取り組み

I. プレ事業

私たち、小学生と一緒に戦争と平和を学び、平和をテーマにした絵を手形で描くことで、平和を願う心を形にします。会場内に作品を展示しますので、ぜひご覧ください。

II. 当日ブース

想いをつなぐメッセージツリーとペットボトルキャップアートを行います。作品を通じて平和について考え、話しあえる場となれば幸いです。なお当日はペットボトルキャップの回収を行います。

III. 公園装飾

ミニチュアのまちからキャンドルのあかりがもれる、あたたかいまちを表現します。安心できる家があることの大切さを感じてもらえればと思います。

IV. 舞台

当日はキャンドルのあかりや会場の雰囲気を感じながらひき語りの演奏をお聞きください。また、平和に関する絵本の朗読も行います。

VR（仮想現実）による原爆被害などの体験

広島市からVRゴーグルを借りて、原爆がおとされた時の悲惨さや、いまの広島市の様子を体験できるコーナーを作ります。

※かかる時間：10分ほど（映像は5分ほど）